

幼稚園教諭免許状と保育士資格に関する資格要件の比較

【幼稚園教諭免許状】

基礎資格	専修	一種	二種
	修士	学士	短期大修士
	修業年限	2年	4年
卒業要件単位	30単位(※1)	124単位	62単位

一般教養	日本国憲法、体育、外国語コミュニケーション、情報機器の操作(各2単位)	8	8	8	
教科に関する科目	国語、算数、生活、音楽、図画工作及び体育の教科に関する科目(これら科目に含まれる内容を合わせた内容に係る科目その他これら科目に準ずる内容の科目を含む。(※2))のうち、1以上の科目	6	6	4	
教職に関する科目	教職の意義等に関する科目	教職の意義及び教員の役割 教員の職務内容(研修、服務及び身分保障等を含む。) 進路選択に資する各種の機会の提供等	2	2	2
	教育の基礎理論に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。) 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	6	6	4
	教育課程及び指導法に関する科目	教育課程の意義及び編成の方法 保育内容の指導法 教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	18	18	12
	生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	幼児理解の理論及び方法 教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	2	2	2
	教育実習		5	5	5
	教職実践演習		2	2	2
教科又は教職に関する科目		34	10	0	
大学としての独自の科目					
免許法上必要とされる単位数(※3)		83	59	39	
大学を卒業するために必要とされる最低単位数		30	124	62	

※1：修士課程を修了するためには、大学院に2年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、当該修士課程の目的に応じ、当該大学院の行う修士論文又は特定の課題についての研究の成果の審査及び試験に合格することが必要。

※2：「これら科目に含まれる内容を合わせた内容に係る科目その他これら科目に準ずる内容」とは、幼稚園教育要領で定める「健康」、「人間関係」、「環境」、「音楽」及び「表現」に関する科目である。(平成10年6月29日付教教第10号教職員課長通知)

※3：専修免許状又は一種免許状を取得しようとする場合は、一種免許状又は二種免許状取得の際に修得した単位数を差し引くことが可能。

※4：教養科目8単位、必修51単位、選択必修9単位

【保育士資格】

基礎資格	なし
修業年限	2年以上
卒業要件単位	—

教養科目	必修	体育(講義・体育実技)	2
	選択必修	外国語 その他	6以上
保育の表現技術	必修	(例 音楽、図画工作、体育)	4
保育の本質・目的に関する科目	必修	保育者論	2
保育の本質・目的に関する科目	必修	教育原理	2
		保育原理	2
保育の対象の理解に関する科目	必修	保育の心理学Ⅰ	2
		保育の心理学Ⅱ	1
保育の内容・方法の理解に関する科目	必修	保育課程論	2
	必修	保育内容総論	1
	必修	保育内容演習	5
保育実習	必修	保育実習Ⅰ	6
		保育実習指導Ⅰ	
保育実践演習	必修	保育実践演習	2
保育の本質・目的に関する科目	必修	児童家庭福祉	2
	必修	社会福祉	2
	必修	相談援助	1
	必修	社会的養護	2
保育の対象の理解に関する科目	必修	子どもの保健Ⅰ	4
	必修	子どもの保健Ⅱ	1
	必修	子どもの食と栄養	2
保育の内容・方法に関する科目	必修	家庭支援論	2
	必修	乳児保育	2
	必修	障害児保育	2
保育の本質・目的に関する科目	必修	社会的養護内容	1
	必修	保育相談支援	1
	選択必修	左記系列から6単位分選択必修	6
保育の対象の理解に関する科目	選択必修	左記系列から6単位分選択必修	6
保育の内容・方法に関する科目			
保育の表現技術総合演習	選択必修	保育実習Ⅱ又はⅢを2単位、保育実習指導Ⅱ又はⅢを1単位	3
保育実習			
平成13年告示第198号上必要とされる単位数			68(※4)